

母は要領が良い。その反面、とつても不器用だ。週四日間の仕事をこなしながら家事、そして野球部に所属している弟のサポートを中心に私たち家族を支えてくれている。毎日四時半に起きてからお弁当を作り、笑顔で私たちを見送ってくれる。そんな母は昨年、子宮筋腫のため手術を受けた。家に帰ってきても、笑顔で『おかえり!』と言ってくれる母がいない。毎日母がこなしていた家事は父、私、弟で協力してこなした。日々私たちのために動いてくれている母に感謝の気持ちが溢れた。退院後も私たち家族に頼ることなく、全ての家事をこなそうとしていた。人に頼ることなくいろいろなことを器用にこなしていく。私はそんな母に頼ってばかりだったと感じた。それからは家事だけでなく、母の体調にも気を遣い動くようになった。そんなとき母がこぼした『ありがとう』。私はその言葉を聞いてとても嬉しかった。今では母に毎日『ありがとう』と感謝の気持ちを伝えている。

たぐち あゆな
田口 絢夢奈さん

